



大崎バス停に 公衆電話を

答

設置できない

問

山口芳正

大崎バス停留所に公衆電話がなく、バス利用の高齢者や障害者、中でも特に歩行の不自由な方から、設置要望を聞くが、

答

岡崎総務課長

この施設は22年5月に完成。公衆電話の設置をNTTに依頼したが、新規設置は困難であり、中央公民館のピンク電話の移設も検討したが、特殊簡易公衆電話で、無人の施設には設置できないとの答えであった。

大崎バス停では最近トイレトベーパーなどの盗難が相次いでおり管理上も困難。役場前の公衆電話移設については、小学生の利用者が多く、移設すると小学生が国道を渡る危険が生じる。

問

山口

は。町費による設置の考え

答

大石町長

町も検討しているが、管理上の問題が大きい。小学生の利用など課題もある。

利用者との調整がつけば、移設が一番適当と考えている。
地域の皆さんの意見も聞きながら、管理の問題も考えていく。



大崎バス亭

林業、農業の活性化策は

答

適材適所の人員配置

問

山口

林業、農業の活性化には、新規参入者の育成が必要だ。専門の職員を配置し、体制を整備せよ。

答

町長

特に林業は、町の9割を占める森林の活用が大きな課題で、林産協の設立や森の工場などに取り組み、町産材の利用を進めている。

昨年度は起業家2件、土木業者1件、県外業者1件の参入があった。

カット野菜工場の取引は順調だが、町内産品は少なく課題である。

今後いろんな課題に対応するには、県の指導や生産者、あるいは普及所、JA、森林組合とも連携を一層密にしながら、町も人材を育て、適材適所の人員配置もしていく。

問

山 口

新庁舎建築の検討委員会を再度立ち上げると聞くが、新庁舎は木造建築で検討されたい。また、

新庁舎は木造で

答

議論を重ねる

答

町 長

太陽光発電や節電システム導入、木質バイオマスの活用などさまざまな角度から検討し、図書館の併設やほかの団体も一緒に入るなど、町民の利便性の高い庁舎とし、バリアフリー化や特産品の販売、宣伝機能も併せ持つ構造を検討しては。

現在大崎地区で候補地2カ所の調査をしている。基本設計段階において、住民の意見なども反映しながら、建設規模や建設の計画に取り組むが、引き続き検討委員会を設置して、十分議論を重ね将来につなげるよりよい庁舎建築を目指す。

木造建築や他機関、団体の入居などの様々な問題についても、幅広い意見も聞きながら、将来良かったと思える拠点庁舎にしていきたい。段階的に議会とも協議を重ねながら、検討委員会の中でも順次議論を重ねていく。

答

町 長

現在町内の橋の点検を行っており、本年度15m以上の橋梁については計

問

山 口

北浦橋は42年が経過し、路面に多数のクラックが発生しているが管理は。

北浦橋にクラックが

答

県に要望

画を立てて、国の事業採択の取り組みを計画している。

国道40号大西工区の完了が見えてきたので、入口から大西工区間の早期整備をお願いしている。

入口ルートの検討には、当然この北浦橋も含めて考え、県にも強く要請していく。



北浦橋



原発の考えは

答 脱原発

問

西森常晴

6月3日の「高知新聞」の原発のアンケートで、県下34市町村のうち、31の首長が、脱原発を唱えるなか、仁淀川町は、その他の3町村に入っているが町長の考えは。

答

町長

節電などで、必要電力量が確保できれば、廃止すべきと考える。

しかし、節電オーダーは製造業への影響が大きく、代替電力や節電で賄いきれないのであれば、必要最小限、安全性の確認された、一時的な再稼働も検討しなければならぬと考える。

問

西森

5月5日の「こどもの日」に、国内50基の原発がすべて停止しているが、6月8日、野田総理は大飯原発の再稼働を表明した。

その理由のなかで、福島を襲った地震、津波防止対策は十分と説明しているが、福島原発の作業拠点となった、免震事務棟放射性物質を除去するベントもない。

非常用電源もなく、防潮堤が完成するのは2015年度の予定で、安全面に不安を抱えての再稼働だ。

答

町長

脱原発の私の考えは変わらない。

国は、中、長期的ビジョンを国民にしっかりと示して、説明責任を果たすべきだ。

日本の技術力の優秀性を発揮していけば、節電効果も上がってくると思う。



仁淀川町消防団消防大会